

# 第4回 学校運営協議会次第

令和8年2月3日(火) 13:30～15:30

光明小学校 会議室

司会 教頭

記録 CSディレクター

- 1 日程説明
- 2 校内参観  
13:30～14:15
- 3 会長あいさつ
  
- 4 校長あいさつ
  
- 5 前回(第3回)会議録の確認
- 6 議長の選出
- 7 熟議 司会(議長)
  - (1) 学校評価より \*いじめ防止基本方針を含む
  - (2) 学校運営協議会自己評価
  - (3) 令和8年度 学校運営基本方針 概要説明・承認
  - (4) 学校運営協議会委員選出について
- 8 報告事項
  - (1) 学習支援ボランティア報告
  - (2) 夢育やらまいかCS加算分の報告
- 9 連絡事項

令和8年度第1回 学校運営協議会 4月24日(金)9:20～11:20(予定)

  - ・学校運営の基本方針について
  - ・学習支援ボランティアについて など

\*日時については改めてさくら連絡網でお知らせします。

令和6年度 第3回 光明小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年11月21日（木） 9時30分から11時30分まで
- 2 開催場所 光明小学校 1階 会議室
- 3 出席委員 笹竹 和行、河島 秀夫、大隅 智、小澤 房世、岡部 かおり  
関島 貴浩、太田 有昭、太田 利実保
- 4 欠席委員 實森 浜代、山本 六二郎
- 5 学 校 中野 主税(校長)、新 英樹(教頭)、土屋 淳心(CS担当職員)  
横山 貴美恵(CSディレクター)
- 6 教育委員会 井島 健蔵(教育総務課)
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 横山 貴美恵

9 議長の選出

司会の教頭から、議長の選出について意見を求めたところ、校長から岡部委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 学校評価（中間評価）を受けて

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

- (1) 学校評価（中間評価）を受けて

教頭より、学校評価（中間評価）について資料（8、9頁）を用いて説明があり、下記の協議の視点を念頭に、委員から以下の発言があった。また、議長より、本日はグループ協議を行う旨の説明があった。

<協議の視点>

- ① 光明小児童の「強み」「弱み」は何か。
- ② 「強み」を伸ばすために、また、「弱み」を改善するために、地域・家庭・学校でできることはどんなことか。

【Aグループ：大隅委員、岡部委員、関島委員、利実保委員、校長、土屋】

- 強みは、素直、楽しく、学校全体でやろうとしている姿勢。
- 弱みは、アンケート [4, 5, 6, 8] について、少なからず評価 [1, 2] を選択した子がいること。  
→評価 [1, 2] が多い項目に視点を当てて対策をする。
- アンケート [7] 等、職員と児童でギャップがある点について、児童が気付いてほしいと言っているのか、そのメッセージを考えたい。

- 児童の評価 [1, 2] の回答は、よく考えた上のメッセージ (SOSサイン) だととらえられるのでは。
- 挨拶は、学校だけではなく、家庭や地域に声をかけることも大事。
  - 第1回のアンケート結果より落ちてきている。家庭内の事情の影響は大きい。
  - 保護者、児童は自覚している。学校側はどこまで求めているのか。
  - 学校ができることは、繰り返し声掛けしていくことが有効。
  - 地域で声をかけると、不審者扱いになる場合もあり難しい面もある。
  - いい地域を作るのに、児童の明るい挨拶は有効。根気強く大人から声かける。
  - 「挨拶」＝「見守り」
- アンケート [4, 6, 7, 8] の内容次第では、不登校につながりそう。
- 評価 [1, 2] について、保護者と児童の割合が同じくらいになっているところは、親も感じ取っているのか、会話ができている可能性がある点が良いと考えられる。
- アンケート [14] から見える家庭の様子。タブレット (スマホ) との付き合い方はどうか。
  - 正しいことは分かっているけど、止められない弱さに対して、どう指導していくか。
  - アンケートでは早寝・早起き・朝ごはんの3つの内容について聞いているが、3つの内容を1つずつ分けて質問すると、より詳しい実態が把握できる。
- 児童の道徳心を育てていきたい。
  - 本来、生活の中で道徳を身に着けていくものだが、学校での道徳教育はどうするか。
  - 正しい、価値を教え込むのではなく、自分の弱い心などについて振り返り、どう向き合うか考えさせることが大事。
  - アニメ「ワンピース」は正義と道徳の戦いが背景にあり、それを道徳の授業で用いるとどうか。

【Bグループ：会長、小澤委員、河島委員、有昭委員、教頭】

- 強みは、職員、保護者、児童ともに肯定意見が多い。タブレット活用 (スマホ) が得意。
  - アンケート [11, 15] は肯定意見が多い。
- 弱みは、少なからず肯定意見が少ない評価も見られる。
  - タブレット活用が得意な分、生活習慣 (早寝・早起き・朝ごはん、姿勢等) に影響を与えている。
  - アンケート [9] から、人の話をしっかりと聞けないと自覚する子がいる。
  - ルールを作り守るといった指導や、考える力を養うことが必要では。
- アンケート [4] は、職員と児童のギャップが大きい。
- アンケート [5] の挨拶は、先生からの期待が強い。
- 家庭面の課題については、保護者向けの啓蒙が必要では。

【その他報告事項等】

会長から、劇団について資料2枚を用いてお知らせがあり、本校および光が丘中学校の生徒も数名出演しており、表現の場として機能している旨の説明があった。

土屋から、学習支援ボランティア活動の進捗状況（実践報告）について、資料（6、7頁）、別紙「コミュニティ・スクールボランティアの感想」を用いて説明があり、委員より以下の発言があった。

●軌道に乗ってきているので、広げていく方法も考えていきたい。（岡部委員）

教頭から、学校運営協議会自己評価表について、12月20日（金）までに、紙またはさくら連絡網での返信にて提出願うとの連絡があった。

教頭から、次回会議は、令和7年2月7日（金）13時30分から15時00分に開催する旨の連絡があった。

# 令和7年度 学校評価 第2回まとめ(職員・保護者・児童)

以下、設問に対する数値の単位は%です。数値は概数で示されているため、合計や比較の数値が前後する場合があります。

<設問に対する回答> 4…そう思う 3…まあそう思う 2…あまりそう思わない 1…そう思わない

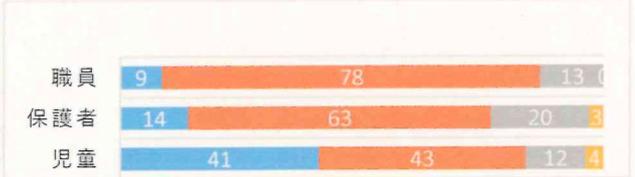


R7 R7

⑧光明小の子供は、「授業が楽しい」と感じています。

第1回 肯定意見	第2回 肯定意見	差
83	87	4
78	77	-2
86	84	-2

設問8	4	3	2	1	計
職員	9	78	13	0	100
保護者	14	63	20	3	100
児童	41	43	12	4	100

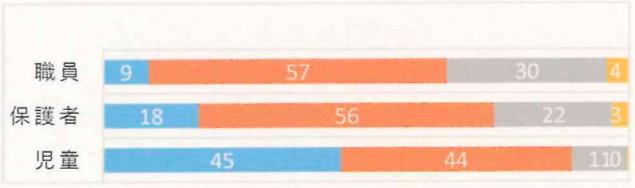


R7 R7

⑨光明小の子供は、人の話をしっかりと聞くことができます。

第1回 肯定意見	第2回 肯定意見	差
57	65	9
75	74	-0
87	89	2

設問9	4	3	2	1	計
職員	9	57	30	4	100
保護者	18	56	22	3	100
児童	45	44	11	0	100

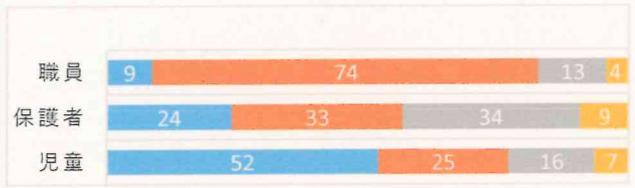


R7 R7

⑩光明小の子供は、「読書が楽しい」と感じています。

第2回 肯定意見	第2回 肯定意見	差
78	83	4
61	57	-4
78	77	-1

設問10	4	3	2	1	計
職員	9	74	13	4	100
保護者	24	33	34	9	100
児童	52	25	16	7	100

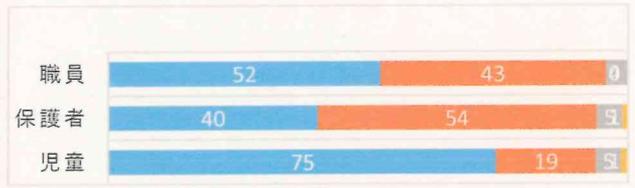


R7 R7

⑪光明小の子供は、「タブレット端末を使った学習が楽しい」と感じています。

第1回 肯定意見	第2回 肯定意見	差
100	96	-4
95	94	-1
94	94	-0

設問11	4	3	2	1	計
職員	52	43	4	0	100
保護者	40	54	5	1	100
児童	75	19	5	1	100

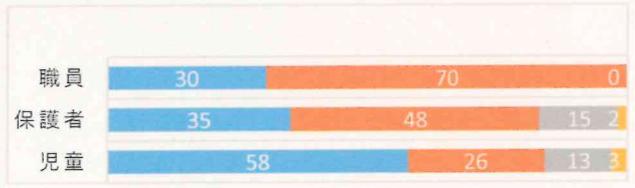


R7 R7

⑫光明小の子供は、「運動することが楽しい」と感じています。

第1回 肯定意見	第2回 肯定意見	差
100	100	0
86	83	-3
90	84	-6

設問12	4	3	2	1	計
職員	30	70	0	0	100
保護者	35	48	15	2	100
児童	58	26	13	3	100

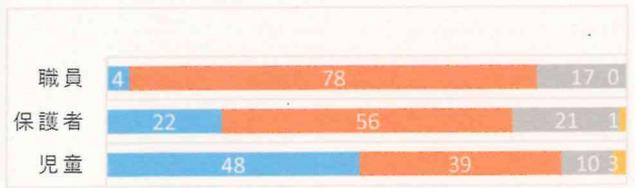


R7 R7

【R7新設】⑬光明小の子供は、好き嫌いをしないで食べようとしています。

第1回 肯定意見	第2回 肯定意見	差
83	83	-1
79	78	-1
89	87	-1

設問13	4	3	2	1	計
職員	4	78	17	0	100
保護者	22	56	21	1	100
児童	48	39	10	3	100

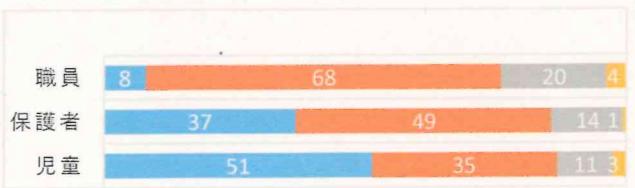


R7 R7

⑭光明小の子供は、「早寝・早起き・朝ごはんを食べる」ができています。

第1回 肯定意見	第2回 肯定意見	差
91	76	-15
90	86	-4
87	87	-1

設問14	4	3	2	1	計
職員	8	68	20	4	100
保護者	37	49	14	1	100
児童	51	35	11	3	100



R7 R7

⑮光明小の子供は、身の回りの安全に気を付けて生活しています。

第1回 肯定意見	第2回 肯定意見	差
61	74	13
94	91	-4
96	95	-1

設問15	4	3	2	1	計
職員	0	74	26	0	100
保護者	26	64	9	1	100
児童	65	29	5	1	100



◇いじめ防止基本方針 関連

① いじめ防止等に関する取り組み

(1) 子供たちの心を把握するアンケート実施

- ・ 学校生活アンケート 3回実施 (5月・9月・2月)
- ・ はままついじめアンケート 2回実施 (7月・11月)

(2) 定期的な全職員による子供たちについての話し合い実施

- ・ 生徒指導委員会
- ・ いじめ対策委員会 ※いじめ案件があればすぐに話し合いを実施

② 学校評価から

学校評価の以下の項目は、いじめに関連する設問です。

- ④光明小の子供は、「学校が楽しい」と感じています。
- ⑥光明小の子供は、自分が言われて、やられて嫌なことはしません。
- ⑦光明小の子供は、自分の学級がよい学級になるように、考えたり行動したりしています。

④光明小の子供は、「学校が楽しい」と感じています。

肯定意見 職員 100% 保護者 89% 児童 93%

R6→ (職員 100% 保護者 91% 児童 79%)

○児童の肯定意見の割合が増加。

- ・ 友達がやさしい ・ タブレットが楽しい ・ 給食がおいしい ・ 友達と遊べる
- ・ 図書室が楽しい ・ 体育が楽しい ・ 授業が楽しい ・ 友達と会える
- ・ 国語が楽しい ・ 友達や先生がいるから ・ 昼休みが長い ・ 音楽が楽しい
- ・ 係がやりたいのができる ・ 色々なことを学べるから
- ・ 勉強が分かると楽しい ・ 楽しいイベントがあるから ・ みんなやさしい

▲児童7名に否定的な意見が見られる。

- ・ 給食が苦手 ・ 係をやらなくてはいけない ・ 怒られることが多い
- ・ 勉強がつまらない ・ 休み時間が楽しくない ・ 眠くてだるい
- ・ 宿題と授業が嫌い ・ 6時間の日が多い ・ 授業が長く難しい
- ・ 発表ができない ・ たいくつ ・ 朝早く行かなければいけない

→学校生活アンケートやはままついじめアンケート実施後、すぐにアンケートに目を通し、担任が、子供たちと面談(面談ウィーク設定)をする中で、子供たちの気持ちを把握。重大な事案が生じた場合は、すぐに関係職員が集まり、いじめ対策委員会を開いて対応を考えている。

⑥光明小の子供は、自分が言われて、やられて嫌なことはしません。

肯定意見 職員 74% 保護者 85% 児童 85%

R6→(職員 86% 保護者 88% 児童 88%)

・否定的な意見が約15%ほどある。

→学級活動や道徳の授業をはじめ、日々の教育活動全体の中で、言動については継続指導。

⑦光明小の子供は、自分の学級がよい学級になるように、考えたり行動したりしています。

肯定意見 職員 78% 児童 86%

R6→(職員 81% 児童 80%)

→学級目標の設定。自分のめあての設定。→月ごとに達成度の個人評価。

行事に向けての目標設定。行事における充実感・達成感・友達と協力することの楽しさ

## 令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立（ 光明小 ）学校運営協議会長

### <本年度の目標>

- ・学校支援、学習支援ボランティア活動を少しずつ拡充していく。地域や保護者の方の声を聞きながら、取り組みを考えていく。

### <評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・前年度から引き続きの委員が多いこともあり、前年度を踏まえた意見が出た。
- ・教育目標「試す人になろう」を校訓に笑顔あふれる学校を目指し、あいさつのできる子「ありがとう」を合言葉に学校、家庭、地域の役割に連携し協力していく。また、学校いじめ基本方針に基づき、いじめに対する色々な意見、質問等が出され熟議することができた。

### <評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・学校と地域の結びつきということに関しては5年前に学校運営協議会が発足した当時からあまり変わっていないように思う。なかなか新しい試みをするにはエネルギーも使いますし、いろいろなネットワークも必要になるので難しいことも多いかと思うが、光明小学校ならば他の地域に比べてもっと地域と結びつくことができ、特色のある学校づくりができそうな気がする。浜松地区だけでなく全国からも注目される学校づくりに協力させていただきたいと思う。光明小学校にはそんなポテンシャルがあると思う。
- ・ボランティアによる学習支援に限られた方のみなので、もう少し関心をもっといただけるとよいかと思う。
- ・学校支援、学習支援のボランティアについては一定の成果は出てきていると思う。授業の様子を参観することで見えてくるよい所、課題等意見交換が活発に行われ熟議することができた。子供たちはのびのびと元気いっぱい笑顔で楽しく過ごしている姿は微笑ましく思う。試すっ子発表会では授業の中で学んだことを上手く工夫して体いっぱい表現していて、とてもすばらしかった。
- ・学校評価の結果については、以前よりも細かく読み取れて、意見交換することができた。
- ・昨年に対し教員からの評価が本年は低いことが多く、ここが問題では？PDCAを回す方々の評価が下がっているのは疑問。目標管理をもう一度見直して、PDCA管理をしっかりとされた方が良いのでは。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・協議会そのものの内容を知らせることは、なかなか難しい。学校から教育活動の工夫や子供の深まりを知らせることができていた。間接的に伝えることでもいいのではないのでしょうか。
- ・地域にはまだ学校運営協議会の存在や活動を知らない方がとても多いと思う。子供たちの家族にもよく知らない方もいると思う。知らない方には全く伝わっていないのが現実だと思います。コミュニティスクールの存在を知ることで気付きがあったり、得する情報があったり等興味をもってもらうような工夫を考えていけたらいいなと思う。
- ・教育活動は学校のホームページやブログに日々掲載されている。自治会等には回覧板で学校だよりやCSだよりがまわってくる。民児協の定例会においては、児童の様子やCSの現状など情報発信している。
- ・時間も限られているので、十分とはいかない。もっと掘り下げが必要では。
- ・自分の思いは伝えられたと思う。皆様の意見にも共感するところがたくさんあった。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・今年度の目標だった「地域や保護者の方の声を聞く」の所が弱かったので、再度、取り組んでみてはどうでしょうか。学校運営の基本方針が出される会合にPTAや自治会の代表の方に来ていただいたり、考えを寄せていただいたりするの  
もよい。
- ・子供たちのことを話していますので、1度だけでもPTAの役員さんにも参加してもらえるのがよいのではないかと思います。
- ・学校支援、学習支援のボランティアを、保護者や地域の方にもっと広めていくための取り組みをどのように進めていくか。
- ・試す人になる＝試す人とは？試すとは？目標の明確化が必要。
- ・学校支援活動をもっと広げて地域で協力できるとよいと思う。